

大型図書紹介記事

【様式3】

選定年度	所属学部	氏名	大型図書タイトル	紹介記事
2020	文学部	小林 徹	カント研究叢書 10点 Kantiana Collection, 10 items.	<p>この叢書は、「Kantiana Collection」と呼ばれるもので、近世哲学史の頂点に立つイマヌエル・カントが活躍した18世紀末の思想家たちの著作が収められています。カントと同時代に活躍し、彼を信奉した思想家たちや、逆に彼を批判した思想家たちの著作を読むということは、歴史的な知識を得るといふ以上の意義があります。一般的に言って、一人の哲学者を理解するためには、その周辺の思想家たちの動向を把握する必要がありますし、一冊の書物を理解するためには、同じ時代の同じ空間に流通していた他の書物を調査して、全体的な文脈を再構成する必要があります。加えて、カントに関して言えば、同時代的な状況を正確に抑えるということは、近世哲学の根幹を深く理解することに直結しています。後世に絶対的な権威を持って君臨するカント哲学にも誕生の日付があり、まだ哲学史の一ページに収まることなく、出現したばかりの生き生きとした「現代哲学」として、当時の人々に様々な反響を呼び起こしていました。この叢書に収められた著作を読むことを通じて、私たちはカントが生きた時代の雰囲気を知ることができますし、それによって、姿を整えつつある近世哲学の生々しい息吹を感じ取ることができるのです。</p>